

ブランド化と言えば、博多屋さんの活動に「アイゴ」の取り組みがありましたね。  
**「博多屋さん」** はい。アイゴは、津屋崎漁港でオキアミなどで釣りをすると一緒に釣れる魚なのですが、使えないし売れないので捨てられてしまうんです。一度刺身を食べてみたところ、ものすごくおいしかったので、もったいない。何とかおいしく食べてもらえる方法はないかということで商品開発を行いました。  
**「貴島さん」** ブランド化もさまざまですが、捨てているものに光を当てるのもそうです。いろいろな人の話を聞きながら何か感じたこと、付け足したいことはありますか。

**「岩熊さん」** 観光客が多いことに対してなのですが、もったいなかったらと思うこととして、来てくれることはとてもうれしいのですが、特に宮地嶽神社の祭りの後などゴミの量がすごくて、何とかならないかなと思います。あまり広まっていいのですが、福津市では、ゴミを拾って写真を撮るとポイントが貯まってイオンなどで使えるアプリもあります。もっとみんなを利用してほしいと思います。

**「西田さん」** 私も知りませんでした。せっかく良い取り組みがあっても知らない人が多いのもったいないですね。知ってもらってとても重要だと思います。

**「貴島さん」** 日常生活の中で、皆さんがいろいろな体験をしているからこそその視点、気付きがたくさん出たと思います。

立ち、イオンができ、人口が増えていきました。建物が建てられない土地は誰も買わないので、上西郷も都市化して活気あるまちにしたいです。

**「貴島さん」** 都市化した上西郷は具体的にどんなイメージでしょう。

**「田井中さん」** 企業がたくさん来てほしいというより、外で働いて、帰ってくる場所であってほしいと思います。住んでみると住みよく、人も需要も増えて活気が集まっていきたいイメージです。

**「貴島さん」** この辺りもイオンができる前、20年前は田んぼでしたから決して夢ではないですね。



### テーマ2 20年後の福津市はどんなまち？

**「貴島さん」** これまで、日常の生活から福津市を振り返って見ましたが、福津市の20周年の節目にあたって、次の20年を見据えたとき、こんなまちであってほしいということを考えてみたいと思います。

**「博多屋さん」** 福津市には、意外と子どもたちが遊べる所が少ないです。公園も古かったり、ボールを自由に使えない制限のあるところが多く、思いっきり遊ぶことができませぬ。未来は、子どもだけでも集える施設や居場所がたくさんできてい

てほしいと思います。それから、津屋崎には、津屋崎千軒という古い街並みがありますが、そういう宮地嶽神社だけでなく、もっと奥にある良さも知ってもらいたいし、大事に残しながら、新しいものも増えていってほしいと思います。

**「西田さん」** 私は、進学するにも就職するにも、多くの人が一度福津市を出ると思うんですね。だけどまた、帰りたいと思えるまちであってほしいなと思います。

**「貴島さん」** どんなまちだったら帰って来たいと思えるでしょうか。

**「西田さん」** 私は帰って来たいと思うと思います。このまちが好きだと思えるから。そういう人が増えてほしいです。

# Talk session



夢と希望を  
ミライに  
つなぐ

いけると良いかなと思いました。

**「貴島さん」** 一方ではなく、いろんな方向から福津市が新しく生み出されていくと良いですね。描いた未来に近づくために、どんなことができるか、最後に自分に落とし込んでみましょう。

**「博多屋さん」** 私は、今自分がやっていること、経験を後輩や下の世代に伝えていくことが大事だと思っています。小・中学生にも分かるように大切なことを伝えていけたら良いなと思います。

**「西田さん」** 私はボランティアの活動に参加してみたからこそ、分かったことがたくさんあります。地域や人の温かさがまさにそうで、これからは、自分の見識を増やしながらも、参加するだけでなく参加してくれる人を一人でも増やしていきたいなと思います。

**「貴島さん」** このまちが好きだということを感じているんでしょう。  
**「博多屋さん」** 福津市は、変わっていったところもあるけれど変わらない良さがたくさんある。それが懐かしくなって帰ってくるのではないのでしょうか。

**「西田さん」** このまちの良さはきつと離れて分かる日が来るのだと思います。

**「田井中さん」** ぶつ飛んだことを言いますが、僕は上西郷を都市化したいです。

**「同」** おおっ！

**「田井中さん」** 福岡駅の東口付近も昔は田んぼだったのを都市化したことで家が

**「田井中さん」** 伝えるという話が出ていますが、福岡東中ではまだ世代間で伝えられることができてないんです。今年、自分の代なので新しい開拓をして、後に残せること、できることを何でもやって盛り上げていきたいと思います。

**「岩熊さん」** 歴史や環境など大切なことを伝えるのはどうしても高齢者が多いので、もっと若い人たちが参加できるように企画を考えて自分たちの世代のボランティアを増やしていきたいです。

**「貴島さん」** 今日話した未来に近づくとするとワクワクしますね。「まちづくり」と聞くと難しく感じるかもしれませんが、これからのいろいろな場所ですながつながって「まちを想うこと」を一緒にやっていけたらいいですね。ありがとうございました。